

やっぱり ヨーロッパ

春のみんぱくフォーラム2013
2013年1月5日(土) → 3月23日(土)



パン
セミナー

みんぱく
ゼミナール

みんぱく
ウィーク
エンド
サロン

みんぱく
映画会

展示場
クイズ

友の会
講演会

親子
ワークショップ

やっぱりヨーロッパ

春のみんぱくフォーラム2013
2013年1月5日(土) → 3月23日(土)

2012年3月オープンの新ヨーロッパ展示を広く知っていただくため、2013年1月から3月までの約3カ月間、展示のテーマに関連したさまざまなイベントを開催します。ヨーロッパの多様な歴史・文化・信仰から生み出された生活様式、世界をかえることになった近代の産業革命以後の文化、グローバル化した現代の人の移動が生み出す創造力を感じて、ヨーロッパの社会と文化に親しんでみませんか。



パンセミナー

小麦とライ麦は世界の食文化の中で大切な穀物です。ヨーロッパでは多様な形態のパンとして広く利用されています。このパンとヨーロッパの文化との関係をフィンランド、ルーマニア、ドイツ、イタリアの専門家が語ります。

参加 有料 一人あたり500円、要事前申込
定員 1回につき40名
会場 国立民族学博物館 食堂（本館1階）
参加対象 中学生以上。お子さまの同伴はご遠慮ください。

北欧のパン—ライ麦パンってどんな味？

1月26日(土) 14:30~16:00 (受付開始14:15)

講師 庄司博史 (国立民族学博物館教授)
井上シルッカ (フィンランド料理アドバイザー)

北ヨーロッパからロシア北部にかけてパンといえばライ麦パン。でも小麦の代わりにライ麦を使っただけではありません。作り方も味もちがうのです。セミナーではライ麦パンのオープンサンドをちょっと味見しながら、北欧のパン文化の世界をのぞいてみます。



ライ麦パンのオープンサンド エストニア

東欧のパン—礼拝ではワインとともに

2月9日(土) 14:30~16:00 (受付開始14:15)

講師 新免光比呂 (国立民族学博物館准教授)

パンは日常の糧であるばかりではなく、キリスト教の礼拝において大切な役割を持っています。そのときに重要なものがワインです。ワインを味わいながらパンの意味を考えてみましょう。



食卓の基本でもあるパンとワイン。それがキリスト教の礼拝の最重要な部分にもなる

ご参加される場合の注意【必ずご確認ください】

2月9日(土)「東欧のパン—礼拝ではワインとともに」では、ご希望の方(20歳以上)には、ワインをご用意いたします。ただし、別途料金をいただきます。当日は、お車のご来館をお控えください。

ドイツのパン—地方の特徴、そして伝説

2月23日(土) 14:30~16:00 (受付開始14:15)

講師 森明子 (国立民族学博物館教授)

ドイツのパンは、ライ麦中心の北欧の特徴と、小麦中心の南欧の特徴をあわせもち、味も形もたいへん多様性に富んでいます。セミナーでは、パンの味見をしながら、それがどの地方のもので、どんな伝説をもっているのか、紹介します。



オクトーバーフェストのブレツェル ミュンヘン

イタリアの日常生活とパン

3月9日(土) 14:30~16:00 (受付開始14:15)

講師 宇田川妙子 (国立民族学博物館准教授)

イタリアのパンの形は、地域ごとに大きな違いがありますが、味や食べ方はとてもシンプルです。イタリアのパンが、人々の日常生活でどんな位置づけにあるのか、かれらの食事のあり方や意味にも触れながら紹介します。



イタリアの日常生活を支えるパン屋

応募方法

パンセミナーへ参加ご希望の方は、下記1~4を明記の上、往復はがき、Eメール、またはFAXにてお申込みください。

1. 代表者氏名、年齢、住所、電話番号、FAX番号 (FAXでお申込みの場合)
2. 参加人数(2名まで)
3. 参加者氏名、年齢 (2名でお申込みの場合)
4. 参加を希望されるパンセミナーのタイトル

【以下の注意事項を必ずご確認ください】

- 応募は1通につき2名様までとさせていただきます。
- 複数のパンセミナーにお申込みいただく場合は、セミナーごとに別々にお申込みください。
- 応募多数の場合は、抽選となります。締切日以降、順次返信いたします。
- 参加の可否については、返信はがき、Eメール、またはFAXにてご連絡いたします。
- お申込みいただいた方の個人情報は、パンセミナーにのみ使用いたします。
- お子さまの同伴はご遠慮ください。

応募締切日

パンセミナー実施日 ▶ 応募締切日 (必着)
1月26日(土)、2月9日(土) ▶ 1月11日(金)
2月23日(土)、3月9日(土) ▶ 2月8日(金)

お申込み先

往復はがき
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係
Eメール kkihaku@idc.minpaku.ac.jp
FAX 06-6875-0401

※パンセミナーに参加される方は、参加券を自然文化園ゲート窓口でご提示ください。自然文化園を無料で通行できます。

参加 無料、申込不要
定員 450名
会場 国立民族学博物館 講堂

ヨーロッパのキリスト教とファシズム —ルーマニア・レジオナル運動を中心に



1月19日(土) 13:30~15:00 (開場13:00)

講師 新免光比呂 (国立民族学博物館准教授)
深澤 英隆 (一橋大学教授)
江川純一 (東京大学大学院人文社会系研究科研究員)

よく耳にするファシズムとはいったいどのようなものなのでしょう。そしてヨーロッパでは、キリスト教と関係があるのでしょうか。そんなことをルーマニアを中心にドイツ、イタリアの事情と比較して考えてみます。



大天使ミカエルと大天使ガブリエル

変わるヨーロッパの言語地図 —多「言語」社会から「多言語」社会へ



2月16日(土) 13:30~15:00 (開場13:00)

講師 庄司博史 (国立民族学博物館教授)

20世紀後半以降ヨーロッパの多くの国では、移民の増加や地域的少数言語運動の活発化により、さまざまなことばが社会のなかで顕在化しはじめています。ヨーロッパ発祥の一国一言語主義はどこにむかうのでしょうか。



大統領選挙も多言語でキャンペーン ヘルシンキ

家族の今 —イタリアの事例から考える



3月16日(土) 13:30~15:00 (開場13:00)

講師 宇田川妙子 (国立民族学博物館准教授)

現在、先進国ではどこでも少子化と高齢化の問題が深刻化し、様々なレベルで家族関係を考え直そうとする機運が高まっています。なかでも日本の状況とよく似ているイタリアの家族事情を紹介しながら、家族のこれからを考えます。



祖母の兄に教えられながらブドウ収穫を手伝う子供

参加 要観覧料、申込不要
会場 国立民族学博物館 本館展示場

移民のささえるヨーロッパ



1月6日(日) 14:30~15:30

講師 庄司博史 (国立民族学博物館教授)

いま西ヨーロッパでは移民出身者が人口の1-2割を占める国はめずらしくありません。難民や移民労働者としてやってきたかれらが、今日ホスト社会において果たす役割や文化にあたる影響は小さくありません。北欧を例にとって紹介します。



街角のテラスカフェ ヘルシンキ

ヨーロッパのキリスト教



1月13日(日) 14:30~15:30

講師 新免光比呂 (国立民族学博物館准教授)

カトリック、プロテスタント、オーソドックスなどのヨーロッパのキリスト教はどんな宗教なのでしょうか。キリスト教徒の毎日の暮らしや聖地への巡礼、オーソドックスで神と出会う場とされるアイコンなどから考えてみます。



ガラスアイコン (嘆きの聖母)

ヨーロッパの生業と1年



2月3日(日) 14:30~15:30

講師 宇田川妙子 (国立民族学博物館准教授)

ヨーロッパの農業は現在でも人々の生活に強く結びついています。その中心が麦作ですが、そのサイクルは彼らの暦のあり方も関連しています。そうしたヨーロッパの農業と1年のサイクルを、展示品をとおして紹介します。



「美のクロイゼ(女性)」の頭飾り

ベルリンで既製服が生まれた頃



2月17日(日) 14:30~15:30

講師 森明子 (国立民族学博物館教授)

既製服産業は、ベルリンで19世紀末に誕生しました。このころから、できあがった衣服を店で買うことが普及していきます。100年余り前の人々が、産業化の時代をどのように生きていたのか、展示をみながら思い浮かべてみましょう。



© Staatliche Museen zu Berlin, Museum Europäischer Kulturen
既製服産業を担う仕立て職人親方のアトリエ風景 (1929年)

やっぱりヨーロッパ



みんなく
映画会

参加 無料、申込不要
定員 450名
会場 国立民族学博物館 講堂

パリ20区、僕たちのクラス

1月12日(土) 13:30~16:30 (開場13:00)

司会・解説 庄司博史 (国立民族学博物館教授)

パリ20区のある中学校でのフランス語のクラスは、24名の生徒全員が移民の子どもたち。フランス語教師フランソワと反抗的な子どもたちのやりとりは、「多文化共生」ということばではとらえきれない正面からのぶつかり合いだ。



©Haut et Court-France 2 Cinema

人生、ここにあり!

3月23日(土) 13:30~16:30 (開場13:00)

司会 宇田川妙子 (国立民族学博物館准教授)
解説 松嶋健 (京都大学人文科学研究所研究員)

現在、イタリアでは社会的協同組合と呼ばれる組織が、さまざまな社会問題に対応した活動を行っています。この映画は、その運動の始まったころの協同組合をテーマにしたものです。人と人の絆の大切さと難しさを考えてみませんか?



©2008 RIZZOLI FILM

「みんなQ」ヨーロッパ編

1月8日(火)~2月3日(日)

会場 国立民族学博物館 ヨーロッパ展示場 (本館2階)

生まれ変わったヨーロッパ展示に関するクイズです。ヨーロッパ展示場の中から答えを探しましょう。クイズの内容は小学校高学年レベルです。

展示場
クイズ

みんなくご利用案内

- 開館時間** 10:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
- 休館日** 水曜日 (3月20日 (水・祝) は開館。3月21日 (木) は休館)
- 無料観覧日** 1月14日 (月・祝)、3月10日 (日)
- 観覧料** 一般420円、高校・大学生250円、小・中学生110円
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

国立民族学博物館

交通のご案内 国立民族学博物館(みんなく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。

- **大阪モノレール** 「万博記念公園駅」下車徒歩約15分
*展示場をご覧になる方は、みんなくの観覧券を自然文化園ゲート窓口でお買い求めになれば、自然文化園を無料で通行できます。
「公園東口駅」下車徒歩約15分
*「公園東口駅」からは自然文化園(有料区域)を通過せずに来館できます。
- **バス** 阪急茨木市駅・JR 茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車徒歩約15分(茨木方面から、自然文化園・日本庭園中央経由のバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください。)
- **タクシー** 万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。
- **乗用車** 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある「国立民族学博物館専用通行口」をお通りください。

■ 国立民族学博物館友の会講演会 (会員限定)

と き 時間の変わり目

—クリスマスからイースターにかけての祝祭から

1月5日(土) 14:00~15:00

主催 財団法人千里文化財団
協力 国立民族学博物館
会場 国立民族学博物館 第5セミナー室 (本館2階)
受付にて、友の会会員証をご提示ください。
講師 宇田川妙子 (国立民族学博物館准教授)

友の会
講演会

ヨーロッパでは冬から春にかけてさまざまな祝祭があります。農閑期であるという事情もありますが、それ以上に新しい年を迎える、つまり時間の変わり目であるということと深く関わっています。複数の暦が錯綜するヨーロッパの事情もふまえ、「時間の区切り」について考えてみましょう。



謝肉祭 シェーラー (左) ローラー (右)

春よこい! —東ヨーロッパのお祭り、踊り、おまもり作りで春をよぼう

東ヨーロッパでは冬の時期にお祭りや行事がいろいろあります。長い冬のあとにやってくる春を心待ちにするのはどこの国でも同じです。ハンガリー、ルーマニア、ブルガリアの人たちにおはなしを聞いてみましょう。

親子
ワーク
ショップ

主催 財団法人千里文化財団
助成 独立行政法人日本万国博覧会記念機構
協力 国立民族学博物館

みんなで踊ろう! —トランシルヴァニアの踊りと歌

1月27日(日) 14:00~15:30

参加 無料、要事前申込 定員 200名
会場 EXPO'70パビリオン (万博記念公園内)

ブルガリアのおまもり・マルテニッツァを作ろう!

2月24日(日) 14:00~15:30

参加 有料 300円、要事前申込 定員 30組
会場 国立民族学博物館 第3セミナー室 (本館2階)

● 友の会講演会、親子ワークショップのお問い合わせ

財団法人千里文化財団
〒565-0826大阪府吹田市千里万博公園1番1号
Tel:06-6877-8893 (土日祝を除く9:00~17:00)

みんなく
携帯サイト



お問い合わせ
国立民族学博物館 広報企画室企画連携係
〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel: 06-6878-8210 (土日祝を除く9:00~17:00)
http://www.minpaku.ac.jp/

